

(6) 朝鮮人、現在、動向^ニ就^テ。

REEL No. A-0503

0033

アジア歴史資料センター

大日本帝國政府

十一月十日(日)午前十時午後十時半
於貴族院

思想調査委員会(会長中井英二氏外二十一員)

朝鮮人の現在、動向ニ就テ

約一時間、後約三十分質疑應答

村松道平氏、中井英二氏、
中井英二氏、中井英二氏

大日本帝國政府

概論

朝鮮民族の思想動向、中樞の力に依るものあり、其の動向は、
朝鮮人の共通感、朝鮮民族の永遠の存在に於て、

思想動向の力、認識、その動向に依るものあり、

朝鮮人の思想動向、その動向に依るものあり、

朝鮮人の思想動向、その動向に依るものあり、

朝鮮人の思想動向、その動向に依るものあり、

朝鮮人の思想動向、その動向に依るものあり、

朝鮮人の思想動向、その動向に依るものあり、

(國定規格15×11×11)

大日本帝國政府

リ所

まことに勝利の勳一表表す者
至る所、勝利の勳

全日成、金成桂（二十五才）平南南道大同郡古子面

東北抗日隊を率へて、一連の戦いに功を著す

文一、植松正良、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

交はすに、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

左の如く、一六七才、直捷の部、危険了

(國定規格 12x25 規格)

大日本帝國政府

全日成、金成桂（二十五才）平南南道大同郡古子面

一、金成桂

三才、逆流、早延、一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

一、金成桂、母ト、抗山紅毛の戦いで、途中、吉村中尉に

(國定規格 12x25 規格)

大日本帝國政府

米穀の輸入と米穀の輸出

米穀の輸入

米穀の輸入は内地の米穀消費に充てられ、不足分は海外から輸入される。昭和十一年の輸入量は前年より増加した。

米穀の輸出

米穀の輸出は主に米穀消費国への輸出である。昭和十一年の輸出量は前年より減少した。

米穀の消費

米穀の消費は主に米穀消費国での消費である。昭和十一年の消費量は前年より増加した。

米穀の生産

米穀の生産は主に米穀消費国での生産である。昭和十一年の生産量は前年より増加した。

(國定標準時三三三三三)

大日本帝國政府

米穀の輸入と米穀の輸出

米穀の輸入は内地の米穀消費に充てられ、不足分は海外から輸入される。昭和十一年の輸入量は前年より増加した。

米穀の輸出

米穀の輸出は主に米穀消費国への輸出である。昭和十一年の輸出量は前年より減少した。

米穀の消費

米穀の消費は主に米穀消費国での消費である。昭和十一年の消費量は前年より増加した。

米穀の生産

米穀の生産は主に米穀消費国での生産である。昭和十一年の生産量は前年より増加した。

米穀の消費

米穀の消費は主に米穀消費国での消費である。昭和十一年の消費量は前年より増加した。

米穀の生産

米穀の生産は主に米穀消費国での生産である。昭和十一年の生産量は前年より増加した。

(國定標準時三三三三三)

大日本帝國政府

考務院恩恵御奉令

一九二二一八

水野忠

周有引多し 朝野人ノ不勤ヲ買入多し
朝野人ニ乘取ニシルト因ル

赤池清

左位朝野人ニシテ進歩生活ニ向上セル者アリ
スパイ嫌疑ナキヤ

官廳ニ生入シ修向アリ

小村實

創氏 朝野丈ノ考テ急ニヤフタノガリナイカ
台傍ノ梅並ト幼令トシガルハ如何
(大野氏稱アリ)

(國定規格第百六十二号様)

大日本帝國政府

岡部子

刈邊政美ト言フテ功ヲ負ルベカラズ

入江母一

漫然死命ニ没スラ警勵スル方計ナリヤ

岡本良

考務院ノ上ノ席上テ同姓ヲ倚依セヌ概ニシナケルハイケナイ

中川清之

山岡万之助

(國定規格第百六十二号様)

大日本帝國政府

戸籍検査

○ 基督教 - 此令の趣

コシエヤレト考之儀

○ 移籍同助

地方長官、洋派、依り、移籍するに於て、地記せしむる事

(國定規格B2×2147種)

大日本帝國政府

八木保名談

○ 中英(延東) - 朝鮮移住先(北京)

奉天、外資、ハルビン、移住

平壤、釜山、大邱

延年、成長、朝鮮、(大正)平壌、(五、川、十、五、移住)

子、移住通知

○ 八路(平)

互支那人と、新、長、川、川

元、力、力(救、史、終、途)

○ 上海 - 韓、C、克、復(利、言、九)

上海、三、十、七

○ 米、O、大、使、館、使、用(香、風、晚)

(國定規格B2×2147種)

大日本帝國政府

字教改革
基督教
戶部移り、基督教擴張事業一漏洩

(國定規格 162 × 250 ㎜)

大日本帝國政府

○ 流言ヒコ
○ 全日成、美砲
○ 女子、南才、北才、教育
○ 子、良、去、教、一、既、走、曲、亦、終、香
○ ソ、神、傳、報、片、助
○ 送、用、一、ス、ロ、イ
○ ソ、神、傳、報、片、助

(國定規格 162 × 250 ㎜)

三
八

一 道會議員ニ關スル調

- (一) 内鮮人別道會議員數調
- (二) 内鮮人別年齢別調
- (三) 内鮮人別職業別調
- (四) 内鮮人別學歷調

朝鮮總督府

(小)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

REEL No. A-0503



アジア歴史資料センター

道名	任命		選舉		合計	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
慶尙南道	九	五	四	二五	一三	三〇
慶尙北道	九	六	七	二三	一六	二九
全羅南道	一〇	四	四	二五	一四	二九
全羅北道	六	四	二	一八	八	二二
忠清南道	五	三	三	一四	八	一七
忠清北道	五	二	三	一一	八	一三
京畿道	八	六	六	二二	一四	二八
道名	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
合計	八四	五五	三八	二四五	一二二	三〇〇
咸鏡北道	五	二	一	一三	六	一五
咸鏡南道	五	五	三	一七	八	二二
江原道	五	五	一	二一	五	二六
平安北道	六	五	一	二二	七	二七
平安南道	五	四	一	一七	六	二一
黃海道	六	四	三	一七	九	二一
道名	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
合計	八四	五五	三八	二四五	一二二	三〇〇

(一) 内鮮人別道會議員數調 (一六五二一改選當時)

朝鮮總督府

(小葉節)

日本標準規格 B4 (267×361mm)



(二) 道會議員内鮮人別年齢別調

朝鮮總督府									
道名									
慶尙南道	慶尙北道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	道名	内	計
五	六	六	五	四	五	八	才六十以上	内	才六十以上
二	二	一	二	一	一	三	鮮	鮮	才六十以上
五	五	五	一	四	一	四	内	内	以六十才下才
九	二	八	五	七	五	九	鮮	鮮	以六十才下才
一	五	一	一	一	一	二	内	内	以五十才下才
五	一〇	一五	五	三	五	二一	鮮	鮮	以五十才下才
一	一	二	一	一	一	一	内	内	以四十才下才
三	五	六	六	六	一	五	鮮	鮮	以四十才下才
		一	一				内	内	以三十才下才
							鮮	鮮	以三十才下才
一							内	内	計
二八	五	七	六	八	六	九	鮮	鮮	計
二八八	一四	二一	二四	二五	二〇	二一	鮮	鮮	

備考 一昭和十九年四月現在
二道會議員缺員十六人

(小築村)

日本標準規格 B4 (257×361mm)

道名	朝鮮總督府								道名	
	慶尙道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	江原道	咸鏡南道		咸鏡北道
農業	鮮内 二二四	鮮内 一四三	鮮内 一七三	鮮内 一一三	鮮内 八二	鮮内 五	鮮内 三一	鮮内 五	鮮内 三	鮮内 一一〇
商業	七四	四一	二	二一	二三	一一	一一四	二一	二一	四二九
工業										三
鑛業	二						三	二		七二
辯護士	二	三	一	一			一一			四九
司法書士	一	一					二		一	八
社會員	二五	五四	二二	三	二	一一	三二	二二	二	四四七
醫師		一一	一	一	一		四	一	二	一九三
漁業	二一	二					七一			一四六
交通業		一	二							六

(三) 道會議員内鮮人別職業別調
(一六五二一 改選當時)

(小葉誌)

日本標準規格 JIS (257×364mm)

朝鮮總督府								朝鮮總督府								
道名	黃海道	平安南道	平安北道	江原道	咸鏡南道	咸鏡北道	合計	道名	京畿道	忠清北道	忠清南道	全羅北道	全羅南道	慶尙北道	慶尙南道	合計
鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内	鮮内
者記聞新								者記聞新								
業造酒								業造酒								
長局便郵								長局便郵								
他ノ其								他ノ其								
小計								小計								
計								計								
30202	1156	228	258	277	216	219	30202	3103	296	294	28	178	38	284	42	43
422	21	30	31	34	27	30	422	43	45	43	30	25	21	42	42	42

(小 乘 納)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

(四) 道會議員内鮮人別學歷調 (一六五二一 改選當時)

道名	大學卒		高等專門卒		中等卒		國民學校其ノ他		計
	内	鮮	内	鮮	内	鮮	内	鮮	
慶尙南道	三	五	二	六	四	五	四	一四	三〇
慶尙北道	二		四	三	四	八	一八	一六	二九
全羅南道	四		二	四	四	四	一〇	一四	二九
全羅北道	一		一	三	三	九	九	八	二二
忠清南道				五	四	四	四	八	一七
忠清北道				一	三	七	一	八	一三
京畿道	三	二	一	六	三	一	八	一四	二八
道名	内	鮮	内	鮮	内	鮮	内	鮮	總計
合計	二五	二八	一五	五九	三四	九〇	四八	一二三	三〇〇
咸鏡北道	二			一		八	四	六	一五
咸鏡南道	四	一		七	一	八	三	六	二二
江原道	一	二	一	五	一	九	二	一〇	二六
平安北道	一	四		五	三	七	三	一	二七
平安南道	二	三	二	六	一	六	一	六	二一
黃海道	二	一	一	七	三	三	三	一〇	二一
道名	内	鮮	内	鮮	内	鮮	内	鮮	總計
合計	二五	二八	一五	五九	三四	九〇	四八	一二三	三〇〇

朝鮮總督府

日本標準規格 B4 (257×364mm)

三
八

二 道會招集狀況ニ關スル調 (現議員ニ付)

- (一) 昭和十六年臨時道會 一回 會期別紙ノ通
- (二) 昭和十七年通常道會 " "
- (三) 昭和十七年臨時道會 一回 " "
- (四) 昭和十八年通常道會 " "
- (五) 昭和十九年通常道會 " "

朝鮮總督府

(小 系 地)

日本標準規格 B4 (267×364mm)



(一) 昭和十六年臨時道會會期

道名	會期	日期數
京畿道	六月二十四日	一
忠清北道		
忠清南道	七月九日	一
全羅北道	七月二十五日	一
全羅南道	六月二十七日	一
慶尙北道	七月十五日	一
慶尙南道	七月十日	一

朝鮮總督府

道名	會期	日期數
黃海道	六月十九日	一
平安南道	六月十七日	一
平安北道		
江原道	六月十五日	一
咸鏡南道		
咸鏡北道		
合計		

(小葉付)

日本標準規格 B4 (257×364mm)



昭和十七年通常道會會期

道名	會期	間日數	議事期間	間日數	附記
京畿道	自三月十四日至三月二十日	七	自三月十四日至三月十八日	四	議事期間中一日休會
忠清北道	自三月四日至三月七日	四	自三月六日至三月六日	三	
忠清南道	自三月三日	五	自三月五日	三	
全羅北道	自三月九日	五	自三月八日	二	
全羅南道	自二月二十六日至三月六日	五	自三月二十七日至三月三十一日	四	
慶尙北道	自三月十一日	七	自三月十一日	三	
慶尙南道	自三月九日	五	自三月七日	三	

朝鮮總督府

道名	會期	間日數	議事期間	間日數	附記
黃海道	自二月二十六日至三月二日	五	自二月二十六日	四	
平安南道	自二月十七日	五	自二月十七日	二	
平安北道	自二月八日	五	自二月六日	四	
江原道	自三月九日	六	自三月九日	三	議事期間中一日休會
咸鏡南道	自三月十六日	八	自三月十二日	三	一日休會
咸鏡北道	自三月七日至三月二十日	十四	自三月十七日	三	
合計		七一		四一	

(小表)

日本標準規格 B4 (267×364mm)

昭和十七年臨時道會實期

道名	會期	開期	日數
京畿道			
忠清北道	九月二十六日		一
忠清南道			
全羅北道	十月十日		一
全羅南道	十月三日		一
慶尙北道	九月二十九日		一
慶尙南道	九月二十九日		一

朝鮮總督府

道名	會期	開期	日數
黃海道			
平安南道			
平安北道			
江原道	十月五日		一
咸鏡南道	九月三十日		一
咸鏡北道			
合計			

(小 察 例)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

昭和十八年通常道會期

道名	會期	期日數	議事期間	附記
京畿道	自三月六日至三月九日	四	議事期間中一日休會	
忠清北道	自三月十五日至三月十六日	二		
忠清南道	自三月八日至三月九日	三	議事期間中一日休會	
全羅北道	自三月八日至三月九日	四		
全羅南道	自三月九日至三月十日	四		
慶尙北道	自三月九日至三月十日	三		
慶尙南道	自三月八日至三月九日	四		

朝鮮總督府

道名	會期	期日數	議事期間	附記
黃海道	自三月九日至三月十日	三		
平安南道	自三月八日至三月九日	三		
平安北道	自三月十六日至三月十七日	三		
江原道	自三月十五日至三月十六日	三		
咸鏡南道	自三月十四日至三月十五日	三		
咸鏡北道	自三月十一日至三月十二日	四		
合計		六三	四三	内二日休會

（不詳）

日本國準規格 B5 (257×364mm)

道名	期會		期日數
	至	自	
黃海道	三月十三日	三月十九日	五
平安南道	三月二十日	三月二十六日	五
平安北道	二月二十三日	二月二十九日	三
江原道	三月十三日	三月十九日	五
咸鏡南道	三月十五日	三月二十一日	五
咸鏡北道	三月三日	三月九日	三
合計			六〇

道名	期會		期日數
	至	自	
京畿道	三月十五日	三月二十一日	五
忠清北道	三月十三日	三月十九日	三
忠清南道	三月六日	三月十二日	五
全羅北道	三月十四日	三月二十日	六
全羅南道	三月十七日	三月二十三日	五
慶尙北道	三月九日	三月十五日	五
慶尙南道	三月二十二日	三月二十八日	五

(2) 昭和十九年通常道會期

朝鮮總督府

(小)

日本標準規格 B4 (267×365mm)

四
0

三 昭和十七年及十八年ニ於ケル通常道會狀況

朝鮮總督府

(小 表 紙)

日本圖書規格 D4 (267×366mm)

REEL No. A-0503



アジア歴史資料センター

昭和十七年通常通會狀況

宣戰ノ大詔後發アラセラレテヨリ三ヶ月大東亞戰爭下ニ開會セラレタル本年ノ各道會ハ大御後威ノ下跡々タル戦果ヲ攀ゲツツアル皇軍ノ勇戰奮闘ニ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ當局ト協心戮力征戰ノ目的ヲ貫徹シ以テ大東亞共榮圈ヲ確立セントノ堅キ決意ニ燃ヘ議案ノ審議ニ當リテモ克ク翼贊ノ本義ヲ履シ極旨堅實態度極メテ眞摯ニシテ戰時下道政ノ運営ニ貢獻スルトコロ大ナルモノアリタルカ其ノ狀況左ノ如シ

一 會期ノ短縮

會期及議事期間別表ノ通ニシテ台集會期平均五日ナリシカ更ニ議

朝鮮總督府

員間ニ於テ自發的ニ之ヲ短縮シ實際議事期間平均三日ニシテ之ヲ前年ノ召集會期平均七日、議事期間平均四日ニ比シ、召集會期ニ於テ二日、議事期間ニ於テ一日ノ短縮ヲ見タリ

二 翼贊ノ狀況

(1) 道會ニ於テ爲シタル決議

各道會ハ何レモ開會ニ先テ神社參拜ヲ爲シ皇軍ノ武運長久ヲ祈念シ征戰完遂ヲ誓ヒタルカ開會劈頭戰線各最高指揮官宛感謝電報ヲ打電、戰歿英靈及出征將兵ニ感謝ノ狀禱ヲ捧グル等其ノ眞摯ナル態度見ルベキモノアリタルカ其ノ決議ヲ以テ大東亞戰爭完遂ニ關スル不退轉ノ決意ヲ聲明セリ

(小葉)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

(2) 議員ノ態度

何レモ今次大東亞戰爭ノ凶田ト其ノ意義ヲ深ク認識シ態度極メテ眞面目ニシテ質問ノ如キモ局部的利害ニ拘泥シ又ハ當局ノ缺點ヲ探索シ若ハ内鮮封鎖ヲ試スルカ如キ言論ハ跡ヲ絶チ國民生活ノ安定確保・生産力擴充・教育問題等道政ノ大局ニ立脚シタル建設的意見ノ開陳アリテ始終緊張裡ニ會議ヲ了シタリ

三 主ナル意見

戰時下最モ緊要ナル國民士庶ノ安定確保・生産力擴充・諸物資ノ配給及物價ニ關スル實策・以月及土木ニ關スル希望意見ヲ主トシタルカ其ノ主ナルモノヲ摘記スレバ左ノ如シ

朝鮮總督府

(1) 國民總力運動ニ就テ

- (イ) 内鮮一體ノ具現ニ付テハ現在行ハレツツアル精神的指導以外ニ義務教育・徵兵^例制度ノ施行・内鮮結婚ノ奨励・内地渡航證明制度ノ廢止・朝鮮銀行券ト日本銀行券ノ單一化等實質的一體ヲ圖ラレタシ
- (ロ) 時局下勞務資源涵養ノ見地ヨリ女子ノ勤勞愛好ノ精神ヲ振起シ併セテ其ノ啓蒙ヲ圖ル爲之カ訓練ニ付特段ノ施設ヲ講ゼラレタシ
- (ハ) 半島民衆ノ皇國臣民化ニハ國語常用ヲ以テ第一段階ト爲スカ故ニ之カ普及施設ニ一段ノ工夫考慮ヲ望ム

(小察)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

朝鮮總督府

(二) 總力聯盟機構ニ依ル上、下達ハ徹底ヤルカ如キモ、下意上通充分ナラズト思料セラルルニ付、國民ノ意見希望ヲ受入レル方
法ヲ講セラレタシ

(2) 教育ニ就テ

(イ) 初等教育ニ付テハ、平素我務教育制ヲ施行スルト共ニ教育ノ
素質ノ向上ヲ圖リ、是國田民、~~成~~成上遺憾ナキヲ期セラレタシ

(ロ) 中等教育ニ付テハ、川及山學校（朝鮮人側）ノ施設擴充ヲ圖
ルト共ニ科學教育ノ振興ヲ圖リ、農業學校ニ於テハ模範的農家
ノ訓練養成ニ意ヲ用ヒラレタシ

(8) 生産擴充、物資配給及物價ニ就テ

(イ) 農村生産力ノ擴充ノ爲、耕作法ノ改善、土地改良等ノ技術的
指導ト併行シ、耕地ノ分合及合理的配分等行政的措置ヲ講ジ、農
村ノ再編成ヲ實施セラレタシ

(ロ) 農産物積極的増産ニ爲、刀ヲ發揮セラレツツハ、多トスルモ動
モスレバ机上計畫ニシテ、~~成~~成ハレ實收高之ニ伴ハサルモノアル
ハ遺憾ナリ、亦斯ル机上計畫ニ基キ實收高ニ比シ、過大ノ供出割
當ヲ爲シ、爲ニ農民ノ困窮セルモノアルニ付、此ノ點留意セラル
ルト共ニ第一線指導職員ノ教養監督ニ特段ノ注意ヲ拂ハレタ
シ

(ハ) 農産物ノ増産ニ必要ナル肥料が適期ニ配給セラレザル爲充

(小 紙 地)

日本標準規格 B4 (267×384mm)

分ナル肥料效果ヲ發揮シ得ザルニ付之カ配給期ニ關シ考慮セ
 ラレタク尙配合肥料ト卑一肥料ハ之ヲ別個ノ系統ヲ以テ配給
 セラレツツアルモ追ヲシテ一元的ニ統制セシメラレタシ

(二) 棉花ノ反當收穫量ノ以テハ肥培管理ノ適正ナラザリシニ依
 ルモノナルガ之カ原因ハ肥料配給ノ減少ニ依リ自給肥料ノ施
 用ヲ主トシテ食糧作物ニ取回ケタルト棉作利潤僅少ナル爲裁
 培租放トナレルニ依ルト認メラルルニ付肥料配給ヲ圓滑ナラ
 シムルト共ニ棉花販賣價格ノ引上又ハ補償金支給等ノ方法ヲ
 講セラレタシ

(三) 農産物ノ價格ハ一般物價ニ比シ格安ニシテ農民ニ不利ニ付

朝鮮總督府

之カ價格差ヲ是正セラレタク尙繩爪等ノ生産者販賣價格ハ收
 支償ハズ生産ヲ阻害スル碩米トモ爲ルニ付之カ引上ヲ考慮セ
 ラレタシ

(四) 薪、木炭ノ出尙良好ナラサルハ價格低廉ナルニ因ルモノト
 認メラルルニ其ノ引上ヲ考慮セラレタシ

(五) 農村ノ必要物資タル棉布、ゴム靴、石油、食鹽等ノ配給ノ
 圓滑ヲ期セラレタシ

(六) 物資配給機關ノ統合ニ依リ實績少キ田舎ニハ之カ配給機關
 ナク靴下一足、棉布數尺ヲ購入スルニモ手續ノ爲面事務所ニ
 一日、購入ノ爲市場ニ一日ヲ浪費スル現狀ニ付斯ル時間的無

（小葉付）

日本標準規格 B4 (257×385mm)

馱ヲ無クスルヤウ考慮セラレタシ
其ノ他

(イ) 府郡島ニ調査課ヲ設置シ經濟統制ニ當ランメテハ如何

(ロ) 農産物ノ供出ノ圓信ヲ期スル爲農村道路ノ積極的改修ヲ助
成セラレタシ

(ハ) 區長ノ手當ハ年百圓に比シテハ僅少ニ付増額ヲ圖ラレタシ

(ニ) 道税戸別税ノ免況者凶タ多キニ付負擔分任ノ精神ヨリ之等
免稅者ニ對シテモ適當課税スルヤウセラレタシ

四 道會ノ提出セル意見書

意見書ノ事項別内譯左ノ如シ

朝鮮總督府

土木ニ關スル事項

四十九件

教育ニ關スル事項

四十一件

鐵道敷設ニ關スル事項

六件

徵收及志願兵ニ關スル事項

三件

行政區劃(府邑制實施ヲ含ム)ニ關スル件

九件

其ノ他ノ事項

三十五件

昭和十八年通常道會狀況

國家國民ノ總力ヲ擧ゲテ戦力ノ増強ニ結集スベキ大東亞戦争第三年ノ決戦下ニ開會セラレタル本年ノ各道會ハ大御威威ノ下皇威ヲ四海ニ宣揚シツツアル皇軍ノ絶ヘザル勇戦奮闘ニ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スルト共ニ決戦下ノ時局ヲ深ク認識シテ戦争意識ヲ昂揚シ半島ニ於ケル義務教育制。徵兵制實施ノ決定ニ對シ道民ノ總意ヲ反映シテ感謝ノ決議ヲ爲シ決戦下半年ノ其何スベキ使命ヲ再認識シテ聖戦ノ目的ヲ貫徹セントノ決意ヲ堅ノ旨曰戒議案ノ審議ニ當リテハ克ク翼贊ノ本義ヲ体シテ進ンデ奮向ト勵心戮力皇國ノ道ニ則リテ之ヲ行動化シ決戦道會ニ相應シキ緊張世ニ此奉道政ヲ議シ和氣藹々裡ニ翼贊ノ

朝鮮總督府

誠ヲ效シテ審議ヲ了シ以テ決戦下道政ノ運営ニ貢獻スルトコロ大ナルモノアリタルカ其ノ狀況ヲ概説スレバ左ノ如シ

一 會期

本年通常道會ハ忠清南道カ三月四日ニ開會シタルヲ皮切リトシテ三月十九日江原道及平安北道カ閉會シタルヲ殿トシテ本年通常道會ハ終結セリ

二 會期ノ短縮

會期及議事期間別表ノ通ニシテ召集會期平均四・八日ナリシカ議員間ニ於テ自發的ニ之ヲ短縮シ實際議事期間平均三・一日ニシテ右ハ決戦道會ニ相應シク議事ノ圓滑ナル進歩ニ由ルモノナルカ之

(小數點)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

ヲ昭和十七年ノ召集會期平均五、五日實際議事期間平均三、一日
ニ比スレバ召集會期ニ於テ〇、七日短縮セラレタリ

三 翼賛ノ狀況

(1) 道會ニ於テ爲シタル決議

各道會ハ何レモ開會ニ先立テ神社參拜ヲ爲シ神前ニ額キテ國威
宣揚、皇軍ノ武運長久ヲ祈願シ聖戰完遂ヲ誓ヒシカ開會劈頭國
民儀禮ヲ行ヒ擧テテシヒマム皇軍ノ果敢ナル勇戰奮闘ニ感謝ノ
決議ヲ爲シ戰歿英雄ニ感謝ノ狀辭ヲ捧ケ牛島ニ於ケル義務教育
制、徵兵制實施ノ決定ニヨリ道民ノ總意ヲ反映シテ感謝ノ決議
ヲ爲シ總督、總監、總理人ハハニ感謝電報スル等決戦下ニ相應シ

朝鮮總督府

キ眞摯ナル態度ヲ堅持シタルカ更ニ緊張裡ニ其ノ決議ヲ以テ大
東亞戰爭完遂ヘノ堅キ決意ヲ闡明セリ

(2) 議員ノ態度

何レモ決戦段階ニ進ミタル大東亞戰爭ノ本質ヲ眞個ニ見究メ國
體ノ尊嚴ナルロト及國體ノ精華ヲ自覺シ大東亞共榮圈建設ノ爲
牛島ノ負荷スベキ使命ヲ再認識シ徒ニ當局ノ施措ヲ私議スルコ
トナク質疑ニ當リテハ克ク中心問題ヲ捉ヘ辯難攻撃ヲ避ケ論旨
以長ナルヲ抑制シ進シテ當局ニ協力シ翼賛ノ誠ヲ效シタルカ皇
恩ハ洽ク下々ニ滲透シテ内鮮ノ對立意識ハ遂ニ其ノ跡ヲ絶チ、
戦力増強ニ關シ其ノ基礎的條件ヲ爲ス國民生活ノ安定確保ト不

離一体ノ關聯ニ於テ食糧増産農村對策殊ニ糧穀ノ供出第一線ノ指導力強化ニ付建設的意見ヲ開陳シ徵兵制實施ヲ一年後ニ控ヘテノ半島民衆ノ指導課成ニ付或ハ義務教育實施ヲ前ノ教育問題殊ニ半島人中等教育施設ノ整備擴充ニ關シ眞摯ナル建議ヲ爲シ終始緊張躬ヲ以テ道氏ニ垂聴セントシ和氣藹々裡ニ會議ヲ了シタリ

四 主ナル意見

戦力ノ増強ニ關シ戰時下取モ重要ナル國民生活ノ安定確保及之ト關連シテ食糧増産、農村對策及糧穀ノ供出、日常生活必需物資ノ配給調整並ニ教育施設ノ擴充及土木、鐵道敷設ニ關スル希望意見

朝鮮總督府

ヲ主トシタルカ其ノ主ナルモノヲ摘記スレバ左ノ如シ

(1) 國民總力運動ニ付

(イ) 國民總力聯盟ノ活動ハ一般ニ低調ニシテ千遍一率ニ過ギ精彩ヲ缺クニ付下ヨリ刀ヲ盛リ上ラシメ下意上通ニ付一段ト構想工夫セラレタシ

(ロ) 決戦体制下國民ニ尊法精神ヲ鼓吹強調シ其ノ徹底ヲ圖ル爲國民總力運動ヲシテ尊法精神ノ昂揚ヲ圖ルベク適切ナル實踐方策ヲ樹立シ強力ニ之ヲ展開セシメラレタシ

(2) 皇民鍊成ニ付

(イ) 決戦下女子ニ勤勞精神ノ昂揚ト時局認識ノ秀徹ヲ圖リ戰爭

(小談)

日本標準規格 B4 (267×364mm)

朝鮮總督府

- (8) 遂行ノ責任ヲ分擔セシメ共ノ蒙ヲ啓ク爲女子教育機關ノ擴充ト同時ニ之カ訓練ニ付特段ノ施設ヲ爲シ殊ニ農村女子指導ノ完璧ヲ期スル爲第一線ニ婦人教化主事ヲ配置シ第一線婦女子指導ノ徹底ヲ期セラレタシ
- (9) 國民ノ總力ヲ結集スル爲徒衣徒食者ヲ可及的ニ就勞セシメ有閑者名簿ヲ調製シ無職ノ者ハ産業報國隊ニ之ヲ編成シ長期徵用ノ方法ヲ講セラレタシ
- (10) 半島人知識層ノ養成ニ特段ノ考慮ヲ拂ヒ殊ニ青年特別鍊成所出身ノ成績優秀ナル者ヲ之ニ充テラレタシ

- (11) 義務教育制度實施惟定ニ對應シ可及的速ニ國民學校ノ増設又ハ學級増加ヲ圖リ教員ノ資質ヲ向上セシメ之ヲ優遇シ同一學校ニ永年勤續セシメ郷土愛ノ情熱ヲ以テ皇國臣民教育ニ全力ヲ傾倒セシメラレタシ
- (12) 義務教育實施ノ際中等學校進學希望者ハ著増ノ一途ヲ辿ルベキ趨勢ニ付中等教育施設ヲ擴充セラレタシ向農村指導強化ノ爲農業學校ヲ増設シ高等農林學校ヲ設置シ中堅皇國農民指導者ヲ育成セラレタシ
- (13) 食糧増産及農村對策ニ付
- (14) 農村生産力ノ増強ヲ圖ル爲土性ノ調査、施肥ノ合理適正化

日本標準規格 B4 (267×364mm)

(小紙)

ヲ圖ルノ他耕種法ノ改善、品種ノ更新ヲ爲シ土地改良事業ヲ全面的ニ擴充シ^補充代用其糧増産ノ爲耕地ノ合理的配分ヲ行フノ外技術指導ト併行シテ第一線指導陣ヲ整備シ努力指導、農民錬成ノ機構ヲ擴充シ郡農會技術員ヲ邑面ニ駐在セシメ或ハ邑面農會ヲ設置シ該行以措置ニ依リテ農村ヲ再編成セラレタシ

(F) 農村生産力増強ト關聯シ自給肥料増産ノ爲畜産増殖計畫ヲ樹テ有畜農家ヲ設置シ首刀利用ニ依リ労働能率ヲ増進セシメ且該畜力利用強化ノ爲馬牛ノ代用飼料ノ生産擴充ニ特段ノ考慮ヲ拂ハレタシ

朝鮮總督府

(G) 農村ノ労働能率ヲ増進セシムルニハ現在ノ糧穀配給量ニテハ相當不足スルニ付農政ニ對シテハ特ニ配給量ヲ増加セシメラレタク尙日常生活必需品ヲ優先的ニ配給シ、生産目標ト同時ニ消費量ヲ示達シ供出運賃ノ補償等ニ付適正ナル考慮ヲ拂ハレタシ

(H) 蔬菜ハ其ノ搬出禁止ノ結果偏在ノ傾^向アルニ付其ノ最高價格及最低價格ヲ設定シテ統制ヲ廢シ従前通りノ自由販賣ニ依リテ蔬菜ノ増産ヲ圖ラレタシ

(I) 現在ノ自作農設定ハ金融組合、郡農會及道ノ三團體ニ於テ別個ニ之ヲ爲シ居ルモ之ヲ適宜ニ統合シテ一本立ト爲スカヌ

(小葉終)

日本標準規格 B4 (267×365mm)

朝鮮總督府

ハ之ニ類スルノ方法ヲ以テ自作農設定ヲ單一化セラレタシ
(5) 糧穀ノ供出、配給及農産物價格ニ付

(1) 糧穀ノ供出ハ自今農家(生産地元)ニ於テ精米加工セシメ
其ノ副産物ヲ生産還元資料ニ還元セシムルト共ニ低廉ナル現
在ノ供出價格ヲ引上げラレタシ

(2) 糧穀供出方法ノ一トシテ地方ニ供出組合ノ如キ機構ヲ作り
國民精神ノ總動員ニ依リ民間ノ盛り上ルカニ依リテ進シテ供
出スルヤウ施策セラレタシ

(3) 現在都邑ニ於テ見ルカ如キ長時間ノ行列買ヲ正シ之ニ要
スル主婦ノ無駄時間ヲ削減時間ニ振向ケシムルト共ニ斯カル

行列買ヲ爲シ得サル助分省ニモ日用必需品ヲ需メ得ラルルヤ
ウ日用必需品ノ配給制度ヲ改善セラレタシ

(4) 農産物價格ハ一般物價ニ比シ相當ニ格安ニシテ此ノ儘ニテ
ハ食糧増産ニモ重大影響アルニ付速ニ他ノ日常必需品ノ價
格ト均衡シ得ルヤウ價格ヲ引上げ農民生活ノ安定ヲ期セラレ
タシ

(5) 畜産指導員ノ設置ニ付

生産力増進強化ノ爲ニハ農薬ノ合理的經營方策ヲ樹立スルコト
最も緊要ニシテ之カ爲ニハ畜力利用ニヨル労働能率ノ増進、家
畜飼育ニヨル推肥ノ増産、軍需皮革増産等ノ見地ヨリ牛豚ノ飼

(不詳)

日本標準規格 B4 (267×364mm)

育ヲ獎勵セラレタク之カ恒學獎勵ノ爲畜産技術員ヲ各邑面ニ配
置セラレタシ

(7) 燃料關係

(1) 薪炭其ノ他用材ノ而安増加ニ伴ヒ森林ハ益々過伐トナリ林
野ハ愈々燃念セララルルニ付造林又ハ砂防事業トハ別個ニ燃料
節約ノ爲温突ヲ全廢スルカ又ハ之ニ徹底的改革ヲ加ヘラレタシ
(2) 燃料節約ノ爲牛ノ出飼獎勵ノ徹底ヲ圖ラレタク尙學校ノ夏
季休暇ハ之ヲ廢シテ冬季休暇ヲ長期トセラレタシ

(8) 其ノ他

河川ニ殖漁ヲ圖ラレタシ

朝鮮總督府

五 道會ノ意見書

別紙ノ通事項別内譯左ノ如シ

土木ニ關スル事項	十九件
教育ニ關スル事項	二十二件
鐵道敷設ニ關スル事項	六件
食糧及農村對策ニ關スル事項	三件
鍊成ニ關スル事項	三件
配給機構ニ關スル事項	二件
行政區劃ニ關スル事項	四件
土地改良及砂防ニ關スル事項	三件

(小冊子)

日本標準規格 B4 (257×364mm)

朝鮮總督府

其ノ他

八件

計

六十九件

六 昭和十八年通常道會ニ於テ爲シタル決議

聖戰完勝ニ關スル決議

十三件

日本標準規格 B4 (267×384mm)

(小)

REEL No. A-0503

アジア歴史資料センター

道別人口概数 (昭和十九年五月一日現在)

道別	総数		内地人		朝鮮人		其 他
	男	女	男	女	男	女	
全 国	二五九一七八二	二二八九二二五	二二五〇二六六	一三三六七〇三	二二四九八四八	二二六三三六八	七九四六
京 畿 道	一、〇九一、一三四	一、五三三、一〇一	一、五五九、九三三	九三三、一〇一	一、〇五八、八二八	一、四四七、九四六	七五八一
忠 清 北 道	五二〇、八八八	四八六、〇〇二	四九四、四八六	四一一、一	四八一、六〇〇	四八八、二二〇	三、八六
忠 清 南 道	一、〇六五、四七九	一、二五三、四〇七	一、二五〇、一三三	一、一〇〇、〇一	一、一七九、七五	一、二二九、九二二	九〇九
全 羅 北 道	一、〇六五、四七九	一、一七九、七五	一、一五五、〇〇九	一、一七五、九三	一、〇三三、五五五	一、一七五、〇八八	九八一
全 羅 南 道	一、二七四、九六九	一、四二二、五五二	一、四二二、五五二	一、二四四、三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	三、三三
慶 尙 北 道	一、〇六五、四七九	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、〇〇〇、〇〇〇	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	四、九二
慶 尙 南 道	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	四、九二
畿 甸 南 道	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	一、二二二、二二二	四、九二

黄 海 道	一、〇一四、九二二	一、〇〇一、四九〇	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二
平 安 南 道	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二
平 安 北 道	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二
江 原 道	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二
咸 鏡 南 道	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二
咸 鏡 北 道	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二	一、〇一四、九二二

極秘

朝鮮統治施策企畫上ノ問題案

一、人口配分

地理的、文化的、血族的环境ヨリ生成セル民族感情ヲ大和民族化スルガ爲ニハ數的及文化的優位ヲ要請セラルルヲ以テ朝鮮民族ノ數ハ可及的少數ナルヲ適當トス然ルニ現在既ニ二千四百萬ヲ算スルヲ以テ之ガ同化ヲ促進スルガ爲ニハ朝鮮民族ヲ刺戟シ却テ同化ヲ困難ナラシメザル留意ノ下ニ一部移住、増加抑制等ノ方策ヲ遂行セザルベカラズ依ツテ今其ノ數的限界ニ付考慮スルニ朝鮮ハ將來二十年間ニ工業化等ニ依リ數クトモ三千萬ノ人口包容力ヲ有スルモノト認メラルルヲ以テ朝鮮人ノ増加趨勢、内地増加人口ノ配置、同化遂行上ノ難易等ノ要請ヨリ比較考慮シ三千萬人中朝鮮人二千五百萬人、内地

人五百萬人トスルヲ最も適當ナリト認メラル

而シテ朝鮮人ハ現在ノ増加趨勢ニ多ク以テ推移スルモノトセバ二十年後ニハ三千五百萬ニ達スルヲ以テ之ガ朝鮮内ニ於ケル人口ヲ二千五百萬ニ抑制スル爲ニ左ノ方策ヲ採ルモノトス

(A) 増加人口ノ抑制

イ、早婚ノ弊風ヲ打破スルト共ニ女子ノ婚姻年齢ヲ現在ニ比シテ三、四年昂メ二十歳以上ニ達セザレバ結婚セシメザルコトトシ男子ニ付テモ概ネ五年昂メル如ク指導ス

ロ、女子勤勞ヲ獎勵シ女子ヲ内房ヨリ社會ニ解放スル如ク指導ス
ハ、男子ノ單身出立ヲ獎勵シ經濟生活ノ向上ヲ企圖セシムル如ク指導ス

ニ、抑制方策ニ即應スル優生法ヲ施行ス

本方策實施ノ爲ニハ凡ユル機關要スレバ團體又ハ公營ノ機關ヲ通ジ
之ガ指導ヲ爲サシメ二十年間ニ凡ソ五百萬ヲ抑制スルヲ目途トス

(2) 増加人口ノ移住

(1)ノ方策ヲ實施スルモ尙五百萬ヲ超過スルヲ以テ之ヲ朝鮮外ニ移
住セシメル如ク計畫ス

移住地域及順位概ネ左ノ如シ但シ開發ニ必要ナル勞力トシテ必要
アル場合ハ別途考慮スベキモノトス

1、國內

樺太

南洋群島 二十萬

(内地及臺灣ハ不適當ト認ム)

2、南方諸地域 (主トシテ帝國領内)

四百萬

(帝國領外ハ概ネ不適當ト認ム)

3、大陸方面 (シベリヤ、滿洲、支那)

八十萬

2、同化政策

朝鮮人ノ民族感情ハ其ノ言語、風習、歴史、宗教等ヲ礎地トスル血
縁共同ノ意識乃至尙持ナルヲ以テ之ヲ打破シ遂次日本民族トシテノ
意識乃至尙持ニ置換スル如ク指導ヲ集中スルモノトス

(1) 精神訓練

日本國體ノ尊嚴ヲ徹底的ニ理解セシメ日本臣民タルノ意識ヲ獲得セシムル如ク精神訓練ヲ施スコト之ガ爲

(1) 神社崇敬ノ觀念ヲ徹底セシム

(2) 日本歴史中ニ於ケル内鮮間ノ史實ノ取扱ニ於テ極力同化ヲ促進スルガ如ク歴史ノ編纂ヲ爲ス

(3) 優秀教員ノ配置ニ依リ精神的陶冶ヲ徹底セシム

(2) 言語對策

國語ヲ徹底的ニ普及シ概ネ二十年間ニ其ノ用語ヲ國語ニ統一スルコト之ガ爲

(1) 讀文出版物特ニ新聞ヲ能ク限リ遠ニ廢止ス

(2) 公私生活ニ於ケル用語ノ國語ヘノ轉換ヲ徹底的ニ促進ス

(3) 風習改善

能ク限リ大和民族ノ風習ヲ移植シ朝鮮人ノ模倣ヲ願致スルガ如ク指導スルコト之ガ爲

(1) 服裝ニ付テハ能ク限リ大和民族ノ模倣ヲ爲サシムルモ要スレ

(2) 國民服等ノ獎勵ニ依リ朝鮮在來ノ服裝ノ常用ヲ嫌忌スルガ如ク指導ス

(3) 家族制度ニ付テハ内鮮通婚ニ支障ヲ來スガ如キモノヲ逐次指導ニ依リ改善セシム

(4) 年中行事及冠婚葬祭ニ付テハ努メテ大和民族ノ模倣ヲ爲サシム

(5) 食事に付テハ食物並ニ食事様式等ニ大和民族ノ様式ヲ模倣ス

ルガ如ク指導ス

住宅ニ付テハ能ク限リ大和民族ノ様式ヲ模倣セシムルモ要ス

レハ内鮮折衷ノ様式ヲ獎勵ス

(4) 宗教對策

宗教ニ付テハ原則トシテ基督教ヲ抑削シ佛教ノ徹底的普及ヲ圖ル

コト

3. 處遇其ノ他

級上ノ政策ヲ遂行スルガ爲ニハ被同化者タル朝鮮人ニ對スル對策ト

並行シ同化者タル内地人ニ對シ帝國ノ朝鮮統治ニ對スル政策ノ認識

ヲ深メシメ同化政策ノ促進ニ協力セシムルノ要アリ

朝鮮統治上ヨリ觀タル國史ノ問題案

異民族ヲ同化スルガ爲ニハ先ヅ異民族各人ノ民族意識ヲ改變セシムルノ要アル處之ガ爲ニハ朝鮮史ニ依リ醸成セラレタル民族ノ衿持ヲ本國ノ歴史ニ依リ體得セル日本民族意識ニ變質セシメザルベカラズ依ツテ今茲ニ朝鮮同化政策促進上歴史ノ及ス影響ヲ考慮シ日本歴史中ニ於ケル史實ノ取扱ニ再檢討ヲ加ヘントス

(一) 「朝鮮ニ於ケル國家形成ハ其ノ獨立性稀薄ナリシ如ク取扱フノ要アリ」

歴史ノ世界ニ於テ主體タリ得ルモノハ民族其自體ニ非ズンテ民族ガ獨立ノカトシテ法的ニ秩序ツケラレタル國家ナルヲ以テ歴史の知識ニ依リ醸成セラレル民族意識ハ其ノ民族ガ管テ形成セル國家ニ對ス

ル祖國的感情ニ胚胎スルモノト謂ハサルヲ得ズ依ツテ朝鮮人ヲ同化スルニ當リテハ其ノ形成セル國家ノ史實的取扱ニ於テ極力其ノ獨立的存續面ヲ稀薄ナラシメ日本民族生成ノ歴史の社會ノ一環トシテ存續シ來リタルモノナル如ク強調スルノ要アリ之ガ爲

(1) 古代ニ於テハ朝鮮半島ノ南部九十五國(海北)ガ日本國領ナリシヲ明ニス

(2) 三韓ヲ獨立國家トセズ日本ノ一地方名トシ神功皇后ノ御綏撫ハ我屬地ノ離反ヲ責メ其ノ領有ヲ確實化セラレタルモノトス

(3) 明ノ封冊ヲ受ケタル李朝朝鮮ノ取扱ニ於テハ足利時代ノ國內事情ニ依リ一時其經營ヲ李朝ニ一任セル如ク也

(4) 文獻慶長ノ役ニ付テハ朝鮮地方ガ明ノ影響ニ依リ住民ノ發展ヲ
阻害セル爲明ノ勢力ヲ除去シ日本國內一如本然ノ姿ニ復歸セシメ
ンガ爲ノ企圖ナリシ如ク取扱フ

(5) 朝鮮トノ交渉史ノ記述ニ當リテハ我國トノ對等關係ヲ示唆スル
ガ如キ表現ヲ避クル様留意ス

(二) 「日本國史ノ編纂ハ朝鮮ニ於ケル民族生活ノ展開ヲ包含メタル歴
史的全體ヲラシムルノ要アリ」
民族ハ共通ノ歴史ト運命ト使命トニヨリ結バレタル生命統一體ナル
ヲ以テ朝鮮民族ヲ同化シ日本民族トシ生命統一體ヲラシメンガ爲ニ
ハ日本歴史ノ全體的發展ノ中ニ朝鮮民族ノ本質ガ完成セラレツツテ
ル如ク取扱ヒ朝鮮ヲシテ日本國家ノ一員タルコトニ誇ヲ懷カシムル

ト共ニ日本歴史ノ形成ニ生キシメルノ要アリ之ガ爲

(1) 朝鮮史就中真ノ古代史ヲ相當詳細ニ日本史中ニ取入レルコトト
シ「我國」ト「朝鮮」トノ觀念上ノ對立及朝鮮ノ國々等ノ表現ヲ
改ム

(2) 我古傳説ト朝鮮史トノ符合セル傳説ヲ史實トシテ強調スル如ク
留意ス

(1) 新羅ノ始祖赫居世ガ神武天皇ノ御兄孫、稻永命ト符合スル點

(2) 新羅建國當初ノ宰相訖公ガ日本人ナル點

(3) 傳説ノ檀君ガ素戔鳴尊ト符合スル點

(3) 倭國併合ノ史實取扱ニ於テハ日韓ノ關係ガ太古肇國本然ノ狀態
ニ復歸シタルモノナルコトヲ強調シ日本史中ニ於ケル三政復古ニ

準スベキ史實トシテ取扱フノ裏アリ他面朝鮮ハ古來地理自然ノ依
憑ヨリ到底完全ナル統治型態ヲ維持シ得ズ大陸ニ於ケル形勢ノ運
動ニ伴ヒ統治紊亂シ住民動搖セル事理ヲ明ニ併合ニ依リ其ノ貧
弱ナル境地ヨリ脱シ皇國ノ世界史の大道ヲ濶歩スル幸福ナル境遇
ニ救ハレタルヲ理解セシムル如ク留意ス

(4) 日本史中ニ於ケル戦争史實ノ取扱ニ於テハ好戰的國民性ナルガ
如キ印象ヲ與ヘザル様留意スルト共ニ道義的文化的國民性ナルコ
トヲ強調シ朝鮮人ノ本國人ニ對スル親愛悅服感ヲ助スルガ如ク
編纂ス

(5) 安價ニシテ興味深キ國史ヲ朝鮮人全體ニ普及シ愛讀セシムル如
ク留意スルト共ニ愛國徒等ニ因リ歴史ヲ通シ日本國民意識ヲ涵養
把持セシムル如ク指導ス